

【1969年2月～12月】 『北海道自治研究』の主な内容

月	号	主な内容
2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発刊のことば（北海道地方自治研究所設立発起人代表アピール・要約）</li> <li>○ セミナー 北海道総合開発の現状と問題点 <ul style="list-style-type: none"> <li>基調講演 日本列島再開発の視点 佐藤 竺</li> </ul> </li> <li>○ 予算編成の新しい試み—市政方針及び予算編成にかかわる一連の業務態勢の確立について— 杉村潔+遠藤徹夫</li> <li>○ 社団法人北海道地方自治研究所設立のごあいさつ</li> <li>○ 社団法人北海道地方自治研究所のあゆみ</li> </ul>
3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭言 地方財政を住民のものに</li> <li>○ 地方財政の現状と課題 山本秀雄</li> <li>○ 道政にのぞむわれわれの基本的態度—昭和44年第1回定例議会に当たって— 大石利雄</li> <li>○ 労働者自立の学習（1）—革新市政下の“職員研修”のありようをさぐる— 山内敏雄</li> <li>○ 住民自治とリーダーシップ 安倍三史</li> <li>○ 別冊資料（1） 44年3月定例議会とりくみ指針 社会党北海道本部</li> <li>○ 別冊資料（2） 昭和44年度地方財政計画の説明（昭和44年2月28日、第611国会提出） 自治省</li> </ul>
4	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭言 首長の口と耳…広報と広聴</li> <li>○ 広報・広聴研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつ要旨 市政の民主主義定着のために 山口哲夫</li> <li>・ 講義 広報・広聴の基本 佐々木隆介</li> <li>・ 講義 コミュニケーションと説得 岡路市郎</li> <li>・ 講義 「最大多数の最大幸福」の追求 大内 基</li> <li>・ 講義 統計白書の読みとりと調査活動について 伊藤陽一</li> <li>・ 講義 社会教育の実態—人をひきつける条件を考える— 鎌田一衛</li> <li>・ 講義 革新市政の原理 八町憲一</li> <li>・ 講義 公衆衛生と都市問題 安倍三史</li> <li>・ 講義 社会保障と革新市政 新川士郎</li> <li>・ 受講者レポート 可能性を信じて 表 秀雄</li> <li>・ 受講者レポート 行政広報と政治広報 沼田孝記</li> <li>・ 受講者レポート 住民と共に考える市政 島田好男</li> <li>・ 受講者レポート 住民自治を実現するために 河原 敬</li> <li>・ 受講者レポート 住民と心の通う広報を 中鉢清治</li> <li>・ 受講者レポート 住民との連がりの真髄に接して 佐藤善男</li> <li>・ 研修総括 「広報・広聴」の総括にかえて 編集部</li> </ul> </li> </ul>
5	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭言 沖縄行政使節団のことば</li> <li>○ 自治体財政問題研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講義 現代日本財政の基本的特徴 高橋 誠</li> <li>・ 事例報告 横ばい都市・小樽の財政状況 島津信太郎</li> <li>・ 事例報告 過疎地帯における財政分析—産炭地芦別市の場合— 石川 孚</li> </ul> </li> <li>○ 欧州諸国革新自治体の実情について 大島太郎</li> <li>○ 社団法人北海道地方自治研究所第1年次経過報告と第2年度議案</li> <li>○ 社団法人北海道地方自治研究所定款</li> </ul>
6	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭言 法令は国民のためにあるもの—緑のおばさんと欠陥車に思う—</li> <li>○ 第12年次自治権全道集会 記念講演（要旨） <ul style="list-style-type: none"> <li>自治体民主主義の主体性をどこに求めるべきか—3年6カ月の自治研の実践から— 山口哲夫</li> </ul> </li> <li>○ 自治体財政報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道企業の財政分析—苫小牧市水道の場合— 伊藤 博</li> <li>・ 交通企業会計の財政分析—函館交通の問題点とその展望— 佐藤達観</li> <li>・ 超過負担からみた財政分析—とくに公営住宅建設事業費を中心に— 水野 毅</li> <li>・ 超過負担と補助金財政—政争による法廷闘争に関連して— 藤谷 豊</li> <li>・ 道財政と市町村財政の関連 渡辺 浩</li> </ul> </li> <li>○ 農業問題の現状 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 畑作農業の現状と問題点—とくに離農問題を中心として— 滝本昇+山本英宣</li> <li>・ 北海道における離農の実態と過疎 中井和夫</li> <li>・ 開拓営農の現状と問題点—その活路は政治の姿勢にある— 野沢直利</li> <li>・ 食品衛生監視の現状と問題点 松井 襄</li> </ul> </li> <li>○ よせられた読者のことば</li> </ul>
7	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭言 栄光と破壊</li> <li>○ 自治体財政問題シンポジウム 基調講演（要旨） <ul style="list-style-type: none"> <li>日本経済の動向と国及び地方財政 山本伊三郎</li> </ul> </li> <li>○ 精薄問題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道の精神薄弱者対策について 坂本 博</li> <li>・ 精薄施設直制度の矛盾—保母なるがゆえの夜間重労働— 全道庁札幌総支部もなみ学園支部</li> </ul> </li> <li>○ 第12年次自治研全道集会 各分科会報告・助言者感想 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生医療分科会（含病院） 生命を守り健康破壊をはねかえすために</li> <li>・ 社会保障分科会 権利としての社会保障の確立を</li> <li>・ 商工労働分科会 労働行政の民主化と中小企業の危機をいかに打開するか</li> <li>・ 農林水産分科会 農漁民といかに提携するか</li> </ul> </li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土木建築分科会 住民による土建行政めざして</li> <li>・ 税務・財政分科会 地方財政の危機と税制の民主化をいかにたたかうか</li> <li>・ 環境衛生・公営企業合同分科会 明るくきれいなまちづくりを／住民のための公営企業とするために</li> <li>・ 教育分科会 教育をうける権利をちとるために</li> <li>・ 住民組織分科会 住民共闘の発展と組織の定着化のために</li> <li>・ 地域開発・広域行政分科会（過密分散会・過疎分散会） いかに住民生活を守り高めるか</li> <li>・ 全体の講評 自治研の定着化と拡大のために</li> </ul> <p>○ 自治体日より</p>	松井安信
8	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭言 8・15の再確認－自主的に民主主義をつくり直すとき－</li> <li>○ セミナー 北海道総合開発の現状と問題点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提言 北海道の産業開発について</li> <li>・ 提言 北海道の社会開発について</li> <li>・ 提言 国民の立場から－野党の一国会議員として－</li> <li>・ 提言 道民の立場から－野党の一道会議員として－</li> <li>・ 提言 計画立案の立場から－新全国総合計画と北海道開発計画の関連－</li> <li>・ 提言 行政執行の立場から</li> <li>・ セミナーまとめ 憲法と自治－司会者として感想－</li> </ul> </li> <li>○ 自治研ジャーナル <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 望まれる通産省の体質改善－国民の側に立つ日はいつか－</li> <li>・ 医療保険改正諮問案－国民皆保険の命題にそうものでない－</li> </ul> </li> <li>○ 自治体日より</li> </ul>	<p>矢島 武 安倍三史 安井吉典 大石利雄 川城 誠 吉村 博 大内 基</p>
9	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭言 住民自治は市民の手で－釧路市長選によせて－</li> <li>○ 予算編成の新たな展開を求める－企画と予算－</li> <li>○ 社会福祉セミナー <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉事務所ケースワーカーの専門的価値志向</li> </ul> </li> <li>○ 民主主義の夜明けは東京と釧路から</li> <li>○ はげましに込めて</li> <li>○ 資料 釧路市長選に望む二つの公約</li> <li>○ 資料 広域市町村圏について</li> </ul>	<p>加藤芳太郎 忍博次＋杉井二郎 美濃部亮吉 山口哲夫</p>
10	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭言 道公害条例審議によせて</li> <li>○ 労働行政問題セミナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基調講演 労働法の基本理念をめぐって</li> <li>・ 基調講演 自治体と労働行政</li> <li>・ 都市における労働行政政策（試案）－都市労働行政政策討議資料－</li> <li>・ 事例報告 夕張市労務安定政策</li> </ul> </li> <li>○ 資料 芦別市家計調査</li> <li>○ 資料 公務員関係各国比較表（大蔵省・財政制度審議会資料より）</li> <li>○ 自治体日より</li> </ul>	<p>小川 環 伊藤大一 山内敏雄 夕張市</p>
11	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭言 住民優先の自治体行政を－市民生活に調和する産業発展－</li> <li>○ 新都市計画法セミナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基調講演 新都市計画法の解明とその問題点</li> <li>・ 提言 新都市計画法がもたらす農業部門への影響とその対策</li> <li>・ 提言 新都市計画法に対するとりくみについて</li> <li>・ 講演 横浜市における労働行政－飛鳥田市政の6年間－</li> </ul> </li> <li>○ 社会福祉研究会 <ul style="list-style-type: none"> <li>講演 老人問題から見た社会福祉の盲点－自治体と労働組合が果たすべき役割－</li> </ul> </li> <li>○ 戦後労働運動史</li> <li>○ 自治研ジャーナル <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域市町村圏セミナーのまとめ（抄録）－地方自治の原点に立ちかえること－</li> <li>・ 釧路市長選が教えるもの－雑音の中から本当の音色を選択した市民－</li> </ul> </li> </ul>	<p>安井吉典 山口太郎 高田 誠 高沢邦夫 吉田勇治 森尾 昇</p>
12	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭言 一票の重味－住民自治と平和のために－</li> <li>○ 社会福祉研究会 <ul style="list-style-type: none"> <li>講演 日本における社会福祉の特質－北海道社会福祉事業の歴史を中心に－</li> </ul> </li> <li>○ 広域市町村圏セミナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題提起 広域市町村圏・地方生活圏構想と社会党の対応について</li> <li>・ 問題提起 広域市町村の背景とそのうけとめ方</li> <li>・ 問題提起 社会変動と地域社会－広域圏構想における前提－</li> <li>・ 問題提起 広域圏構想の意図するもの</li> <li>・ セミナーまとめ 地方自治の原点に立ちかえること－広域市町村圏セミナーのまとめ－</li> <li>・ 事例報告 動き出した広域市町村圏－現地の表情と問題点－</li> <li>・ 資料 中空知・富良野圏指定の足どり</li> <li>・ 資料 広域市町村圏の今後のとりくみについて</li> </ul> </li> </ul>	<p>三吉 明 安井吉典 板東勝雄 笹森秀雄 十亀昭雄 富岡秀義 溝部忠増 社会党赤平総支部</p>